

卒業生は今

●●● MAILBOX

羽田 麻友美

国際英語学科 2013年卒



私は、大学の隣の我孫子聖仁会病院の医事課で仕事をしています。主な業務は、患者さんのカルテの管理・運搬、受付、医療費の算定です。3月から働かせていただいていたので現在はだんだん仕事も慣れてきました。外国人の患者さんもいらっしゃるのですが、その時には英語で案内をしたりしています。まだまだ覚えることが多く、慌ただしい日々を送っていますが、優しい先輩たちに囲まれて、充実した毎日を過ごしています。

市教育委員会学校教育部保健体育課学校給食担当室に勤務しています。

仕事を始めてまだ一ヶ月程しかたっておらず分からないことだらけで戸惑うことも多々ありますが、周りの先輩方や上司の方々、同期の友人にも恵まれ充実した仕事環境の中で毎日働いています。

仕事内容としては、所属からもわかるように公立小中学校の給食に関する業務を行っています。現在の仕事に就くまで、市の職員は主に市民の方々と相手をする仕事だと思っていたのですが、実際私が現在している仕事は主に学校の先生や職員の方々、業者を相手にする仕事です。

働きだす前の想像とは全然違う仕事内容ですが、これからも周りの方々から多くのことを学び成長していきたいです。

高橋 おきな

史学科 2012年卒



私は平成24年3月に川村学園女子大学を卒業し、卒業後一年の間をあけて平成25年4月から松戸市の職員として採用となり、松戸

佐藤 唯

心理学科 2010年卒



宮城県教育委員会スクールカウンセラー

佐々木 瑠美

日本文化学科 2009年卒



私は今、未来屋書店で働いています。文庫、新書、コミックの担当を経て、現在はパート従業員へ指示を出すリーダーとして働いています。雇用状態はアルバイトですが、正社員を目指して奮闘中です。

書店で働く上で大切なのは、読書家であること……ではありません。書籍の知識も必要ですが、一番大切なのは「おもてなしの心」をもつことです。

書籍はどこで買っても同じ値段です。通常、値引きやセールはできません。その分私達は、売場作りや接客を通して、お客様へ感謝の気持ちを伝えています。利用しやすい売場作り、心地よい接客、全てをお客様目線で考え行動していきます。私達の気持ちがお客様へ伝わった瞬間が、何よりも幸せです。

企画する喜び、達成感を味わってみませんか！

Student Adviser (略してSA) に登録して、楽しい学園づくりにチャレンジしてみませんか！
〈SAの活動で企画できる内容〉

1. 学生の皆さんの生活に役立つイベントの開催や情報の発信 (例 お料理教室、着付け教室など)
2. 学部・学科・学年を越えて交流するプチイベントの開催 (例 パーベキュー大会など)

3. 我孫子市や柏市など地域への貢献 (例 我孫子聖仁会病院との交流など)
- 詳しくは、学生生活支援室へどうぞ (*^_^*) 一人でもはじめてみませんか！

* SAのメンバーや学生生活支援室の職員が新メンバーをサポートしますので、安心して取り組みます。



尾藤正英先生を偲んで

元史学科長尾藤正英先生が、平成25年5月4日心不全でお亡くなりになりました。先生は、日本近世の思想史を御専門とされ、『江戸時代とはなにか』(岩波書店)は近世社会の特質を論じた名著として知られています。東京大学を定年退官後、千葉大学教授を経て、開学とともに本学の教授に就任され、史学科の基礎を築かれました。学問的厳しさは終生変わりませんでした。博識と笑顔は、学生を魅了してやまないものでした。平成11年3月本学を定年退職されました。その後平成14年12月に日本学士院会員に選出され、翌年秋には瑞宝重光章を受賞されました。大学25周年の原稿執筆をお受けいただいた直後の、突然の訃報でした。謹んでご冥福をお祈りします。



編集後記

- 卒業生のニュースや花時計のご感想をお待ちしています。(R.M.)
 - 仕上げまで強力スタッフ感謝です。(M.H.)
- 発行日/平成25年7月22日 第34号発行
制作/川村学園女子大学広報委員会

花時計

No.34

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel. 04-7183-0111(代) Fax. 04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>



桜川



MAKOTO NISHIKAWA

入学式の帰り、雨の中目黒川沿いを歩いていた。目黒川はよどんだ水路のような川で、空の暗さもあって、水面は濃緑色であった。そこに桃色の帯が漂っていた。雨に散った桜の花びらであった。ソメイヨシノでも、集まって重なるにあんなに濃く、鮮らくなるのだと、心が動いた。

生まれた場所が京都の円山公園のそばで、桜と言えば花見の宴会であった。子供にとっては遊び場がふさがってしまう時節で、与謝野晶子の「清水へ祇園をよぎる桜月夜 こよひ逢ふ人みなうつくしき」とはほど遠い心持ちであった。桜は美しい花ではなかった。

三〇歳の頃、京都の平野神社という、これまた桜の名所を、開花前に歩いたことがあった。そのとき、なぜか桜餅の匂いをかいだ。いや、桜そのものの香りであった。その香りを感じて、桜に初めて魅せられた。そして一〇年ほどたって、東京は品川の御殿山で、春疾風に吹かれ舞う大量の桜の花びらに遭遇

文学部長 西川 誠

したとき、桜って美しいんだと思った。「雪ならば幾たび袖を払わまし。花の吹雪と詠じけん」。そしてこの春、あらためて桜の色に感じ入った。

まだ、美しいと思う心が残っていたらしい。老化して心が弱くなったのではなく、まだまだ変わる余地があったのだと思いたい。道元は進歩も退歩も同じとは言っているが、変わることは良いことばかりではない。だが、日々何かしら発見していこうという心持ちはあっても良いのではないか。

みなさんが大学生になって、または新学期が始まって、三ヶ月くらいが経っている。新しい発見はあっただろうか。大学生になって、新学年になって、呼び方が変わっただけでなく、刺激を受けて中身も変わったのだろうか。変身、メタモルフォーゼ。若いみなさんはもっと変化できるはずである。

新しい顔

新任
教員



矢野 重典
(教授)
社会教育学科



三好(馬)上 美知
(准教授)
児童教育学科



高橋 亮介
(講師)
史学科



桂 瑠以
(講師)
心理学科



山名 順子
(講師)
日本文化学科

教員の退任

日本文化学科 倉澤 正昭 (教授)
 幼児教育学科 浅井 義弘 (教授)
 児童教育学科 松原 一義 (教授)
 社会教育学科 梅澤嘉一郎 (教授)
 社会教育学科 斎藤 哲瑯 (教授)
 生活文化学科 富田 昌志 (教授)

教員の昇任

○准教授から教授
 教育学部 児童教育学科 猪瀬 義明
 ○講師から准教授
 教育学部 幼児教育学科 近藤 千草
 教育学部 幼児教育学科 菅井 洋子
 教育学部 幼児教育学科 竹内 啓
 教育学部 児童教育学科 齋藤 慶子

BOOKS

酒井 正子 共著 (日本文化学科 教授)
 石井 正己 編
『子守唄と民話』
 ●2013年3月発行
 ●三弥井書店



鶴沼 秀行 著 (心理学科 教授)
『対象の認識における情報の時間空間的統合と知覚的表象の形成』
 ●2013年3月発行
 ●早稲田大学出版部



西川 誠 共著 (史学科 教授)
『日本政治史の新天地』
 ●2013年1月発行
 ●吉田書店



生井澤 幸子 共著 (史学科 教授)
『拡大EUとニューリージョン』
 ●2012年10月発行
 ●原書房



川崎 恵里子 共訳 (心理学科 教授)
 アラン・バドリー 著
『ワーキングメモリ―思考と行為の心理学的基盤』
 ●2012年9月発行
 ●誠信書房



西川 誠 編著 (史学科 教授)
『伊藤博文文書 秘書類纂 憲法』 全12巻
 ●2012年11月-2013年3月発行
 ●ゆまに書房



生井澤 幸子 共編著 (史学科 教授)
『海と空の港大事典』
 ●2011年9月発行
 ●成山堂書店



高橋亮介 共著 (史学科 講師)
『ローマ帝国と地中海文明を歩く』
 ●2013年4月発行
 ●講談社



学園祭《鶴雅祭》についてのお知らせ

今年は**10月26日(土)**と**27日(日)**の両日に開催を予定しています。

是非、より多くの皆様方にご来場いただきたくご案内いたします。卒業生や同窓会の方も奮ってご参加ください。お待ちしております。



＜＜ オリエンテーション レポート ＞＞

国際英語学科

三菱一号館美術館で、クラーク・コレクション所蔵の印象派の美しい絵画を鑑賞した後、東天紅で中華料理を楽しみました。昼食会の進行とスピーチは英語で行われ、新入生と教職員は、和やかな雰囲気の中、お互いの親睦を深めました。



児童教育学科

東京・日本橋界隈の美術館・博物館を訪れました。まず、貨幣博物館では、小学生用の「お金探検学習シート」を携え、「児童を引率する先生」のつもりで見学。また、日本銀行本店を上空から臨めるマンダリンオリエンタルホテル東京のレストランでランチを楽しみました。昼食後は、「くすりミュージアム」で薬の科学を学び、最後に三井記念美術館で「三井家のひなまつり」を鑑賞して日本の美しい伝統文化に触れました。先生方と同級生の顔を出来るだけ覚えて、親睦を深める有意義な時間となりました。



史学科



バスで群馬県の館林と太田を訪れました。午前中は、館林駅のすぐ近くにオープンしたばかりの製粉ミュージアムで、小麦粉のできる工程や日清製粉の企業文化遺産について学びました。

小麦粉の製造がこんなに複雑だったとは、というのが正直な感想です。午後には、太田市の郊外にある戦国時代の山城、金山城を見学しました。尾根伝いに歩きながら、度重なる攻撃にもかかわらず、一度も落城することのなかった城の防御施設の堅固さに圧倒されて、歴史大好きな新しい友人たちと大いに盛り上がりました。

心理学科

オリエンテーションは柏のクレストホテルで行われました。移動時間が「もったいない」と、落ち着いた雰囲気の中で、履修の理解を深め、教員の加わった小グループの交流で相互の理解を深めることを目的に行いました。



日本文化学科

今年は、江戸の伝統文化を日本橋界隈で学びました。最初に訪れた小津和紙では、和紙の強靭さ多様な種類やサイズに驚かされました。三井記念美術館では雛人形を鑑賞しました。近くで見た内裏雛は大きかったです。人形の美しさや道具の緻密さにはため息が漏れました。



幼児教育学科

4月5日(金)ふなばしアンデルセン公園にてオリエンテーションキャンプを行いました。まず園内のこども美術館でキャンドル作りのワークショップを体験し、想い想いの素敵なキャンドルができあがりました。好天に恵まれ、お昼は大きな風車の前の芝生で車座になってお弁当を食べました。開放的な雰囲気の中で同級生や教職員、ボランティアの4年生とはじめて話をした1年生も多かったようです。大学という新しい環境に慣れるための楽しい第一歩の一日でした。



社会教育学科



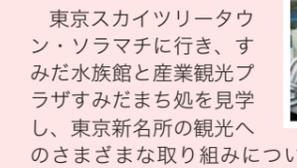
上野公園、不忍の池横の下町風俗資料館へ見学に参りました。懐かしい東京下町の文化に触れた後、お昼は東天紅で美味しい中華料理を頂きました。本年はひとりの欠席者もなく、皆で新入学の楽しい一日を過ごしました。

生活文化学科



カップヌードルミュージアムでカップヌードルの製造方法を学び、マイカップヌードル作りを体験しました。その後、横浜赤レンガ倉庫にあるフィッシャーマンズマーケットで昼食を楽しみながら学生、教員の親睦を深めました。

観光文化学科



東京スカイツリータウン・ソラマチに行き、すみだ水族館と産業観光プラザすみだまち処を見学し、東京新名所の観光へのさまざまな取り組みについて学びました。その後、31階のレストランでスカイツリーを間近に見ながら自然派イタリアンの食事を楽しみました。



学 科 ニ ュ ー ス

●国際英語学科

チチェスター・カレッジ交換留学生の塚本優貴さんが4月13日に元気に出発しました。チチェスター到着後すぐに授業が始まり、スペイン、香港、コソボ、カザフスタンなどの様々な国の学生とともに英語を学び、彼らの積極的な姿勢に刺激を受けて頑張っているようです。ホストファミリーの両親や5人の子どもたちは皆、優しく親切で毎日がとても楽しいそうです。すでに友人とロンドンを訪れ、バッキンガム宮殿を見学、華やかな大都市の魅力に触れました。多くの人たちとの出会いを通して国際感覚を身に付け、人間的に大きく成長することを願っています。



●史学科

史学科では、目で見、耳で聞いて歴史を体感しようと、博物館・美術館はもちろん、劇場や映画館へも学生を連れて行きます。能楽鑑賞もそのひとつ。今年も国立能楽堂での鑑賞に先立ち、昨年大好評だった西川誠先生による作品解説が行われました。謡本の読み方（注意書き、音階、リズムなど）、所作の基本を習った後に、先生の謡いと舞の披露が。日頃とは別人のような紋付き袴の姿に一同感嘆しきりでした。



●心理学科

松井学科長を中心に「学科ニュース」を作りました。教員紹介・学科案内、心理学を学ぶ楽しみなど内容豊富です。心理学に興味を持っている高校生、入学後あらためて教員の「素顔」を知るにも役立つものになっています。

また今年は桂先生が着任されました。長年心理学科を牽引されていた浅井先生の退任と入れ替わるようにフレッシュな桂先生が加わり、心理学科も変わっていくでしょう。



●日本文化学科



日本文化学科の三つのニュースをお知らせします。一番目は、日本文化学科では本年度、新任の山名順子先生が加わりました。先生の専門分野「江戸文学と浮世絵」で、3年生ゼミと4年生の卒論指導にあたって学生のニーズに全力で応えています。二番目は、今年度から、教員採用試験や一般企業就職対策のために、日本漢字能力検定試験に加えて日本文学検定試験を全学年で実施することになりました。試験日まで1カ月半。良い結果を手にできるよう地道な努力を期待しています。三番目は、年度の国語教員採用試験合格者（卒業生実績）3名です。内訳は、千葉県公立小・中学校（国語科）3名です。現4年生は実習先の中学校や高等学校で国語教員を目指して頑張っています。

今年3月に社会人に送り出した本学科の第2期卒業生は第1期生に負けないがむがり、千葉県と東京都の教員などとして巣立っていきました。1年間講師として勤務していた第1期生もほとんどが正規採用の教員になることができました。在校生も、先輩たちに負けじと積極的に勉学に励んでいます。

●幼児教育学科

「体験学習で苗植え」

4月27日（土）、一年次の必須科目である幼児教育体験学習の授業が行われました。今回は古代米のアカマイと後期の体験学習で作るお手玉用のジュズダマの種まきをし、次いでミニトマト、ピーマン、キュウリ、枝豆の苗植えを行いました。畑の雑草を抜き、スコップで耕して有機肥料を入ると汗が出てきました。そこに苗を一株ずつ丁寧に植え付けました。思わぬところからカエルやカナヘビが飛び出てきて大騒ぎ。苗や生き物、土に触れて皆、生き生きとしていました。これから約半年、畑やバケツ田んぼの観察と世話をしていきます。



●児童教育学科



学科創設から5年が経ち、本学科の特徴の一つである「地域との連携」がすっかり定着してきました。近隣の我孫子第二小学校、我孫子第三小学校をはじめ我孫子市特別支援学校などでのボランティア活動が積極的に行われています。学生が学校で子どもたちを支援する一方、学生にとっては教育現場と接する絶好の機会となり、将来の夢が実現に近づく手ごたえを感じています。

●社会教育学科

社会教育学科では、23年度から「基礎ゼミナール」（1年次前期）「社会教育基礎演習Ⅰ」（1年次後期）に続けて、2年次前期に必修科目「社会教育基礎演習Ⅱ」を設置しています。この授業は、1クラス5人程度の少人数で編成されています。主に新聞、雑

誌などのメディアから、社会的、国際的な種々の問題をピックアップし、発表や討論を行い、これらの問題についての理解を深めるとともに、論理的思考ならびにプレゼンテーション技術なども身につけることを目的としています。



●生活文化学科



モノが手に入る時代、子どもたちに手作りの楽しさや工夫したり考えたりする力を持ってもらいたいという発想のもとで開催されています。布のバックに型染めをしてオリジナルマイバックを作り、買い物をするときに使いたいと、子どもたちは大喜びでした。

●あびこキッズ大学で活躍

4月21日（日）我孫子駅にある、あびこショッピングプラザの「あびこキッズ大学」において、オリジナルメイキング&花染めサークルの学生がワークショップを行いました。何でも簡単にモノが手に入る時代、子どもたちに手作りの楽しさや工夫したり考えたりする力を持ってもらいたいという発想のもとで開催されています。布のバックに型染めをしてオリジナルマイバックを作り、買い物をするときに使いたいと、子どもたちは大喜びでした。



●観光文化学科

今年1月、観光文化学科では、1・2年生を対象に、昨年10月にリニューアルオープンして話題となっている東京ステーションホテルにて見学会を実施しました。1915（大正4）年に開業した同ホテルは東京駅丸の内側の駅舎内にあり、約6年かけて外観を創業当時の状態に復元し、内部をモダン・ヨーロッパ・テイストに一新しました。藤崎総支配人より、国の重要文化財をホテルとして活用することの難しさと誇りをセミナー形式でうかがい、館内見学では開業準備から携わる久保田氏に詳しく説明していただきました。



川村学園女子大学公開講座のお知らせ

テーマ：東と西の物語

期間：10月5日（土）、10月12日（土）、10月19日（土）、10月26日（土）

定員80名。受講は無料。問合せは庶務課 04-7183-5526 まで。

10/5	① 港が語る東と西の物語 — ロッテルダムかハンブルクか— ② 歌手として出合った「東」と「西」 — 映像と生演奏を通して—	生井澤幸子 柳澤 安雄
10/12	① 『古寺巡礼』と『イタリア古寺巡礼』 — 和辻哲郎の二つの旅行記— ② 外国人の見た幕末・明治の日本 —アーネスト・サトウの『会話篇』を通して—	湯浅 弘 長崎 靖子
10/19	① 日本画とは何か ② アレクサンドロス大王の目指した帝国	竹内 啓 高橋 亮介
10/26	① おもてなしとホスピタリティ ② 東のカーンと西のシャルル — 分裂した古ヨーロッパの王国—	丹治 朋子 金尾 健美

① 12:50～14:20（休憩10分） ② 14:30～16:00
☆全8講座に参加された方には、修了証をお渡しいたします。



申込方法

9月30日（月）までに、E-mail・ハガキまたはFAXにて、住所・氏名（フリガナ）・電話番号・申込講座・学科名を記入の上、お申し込みください。

申込先

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133
川村学園女子大学 公開講座係（庶務課）
FAX 04-7183-0115
E-mail:koukaikouza@kgwu.ac.jp
http://www.kgwu.ac.jp/event/open.html

同窓会の発足について



川村学園女子大学も、本年創立25周年をむかえ、川村学園同窓会の支部として、卒業生の結束を高め大学の活動にも積極的に関わる大学同窓会を我孫子に創設することになりました。すでに同窓会に入会しておられる方はもとより、未加入の方のご参加もつって新しい活動をすすめるべく検討しております。過日24年度卒業生を中心に同窓会発足委員会が開かれ、第1回総会を平成25年11月23日（土曜祝日）午後2時から川村学園女子大学14号館大教室において開催することが決定されました。その後講演会（山田邦子氏予定）と懇親会（学食において）を予定しています。午後5時には終了予定です。多くの方に参加していただけるよう検討しております。新しい情報は随時、川村学園女子大学のホームページにアップしてまいりますので、ご覧の上同封の出欠の葉書を速やかにお送りくださるようお願いいたします。

25周年史を編集中です。
来春刊行予定



文学部

国際英語学科 4年 原 成美

交換留学生としてイギリスのチチェスター・カレッジに1年間留学していた原成美さんが、留学中のボランティア体験について一文を寄せてくれました。

将来海外で日本人以外の方と働くための準備をするため、チャリティーショップで8か月間働きました。最初は英国人のあまり仕事に効率性を求めない仕事観の相違に戸惑いましたが、英国人の店長や先輩方に必死についていきました。最終日は私の帰国を惜しみ泣きそうになる仲間もいて、認めてもらった事が嬉しかったです。言語や文化の壁を越えて意思疎通を図り、人と協力して困難を打ち破る事の楽しさを学びました。

今は就職先も決まり、内定者アルバイトとして一店舗で働いています。入社後すぐにでも英国に戻れるように頑張ります。



クラスの集合写真、オリンピックトーチを手に

史学科 4年 宮下 梓織



自分に自信を持ちたい、と去年の9月、トロントに向けて日本を出発しました。

当初、コーヒーを買うことすらままならなかった私ですが、現在はインターンシップに向けてビジネスクラスを受講しています。普段使わないような単語や英語でのプレゼンテーションなど、大変でうまくいかないことも多くあります。しかし、国際色豊かなトロントでの様々な国籍や文化、考え方を持った人たちとの出会いは、今までにない貴重な経験であるとともに、多くの刺激を受けます。私にとってこの経験は、自身の成長と自信につながっているように思います。



心理学科 3年 羽倉 史織

カンボジア、それってどこ? なんていう疑問と未知の世界に足を踏み入れるドキドキを抱えて1年生の春、学生国際協力団体Michiii (みち) に入りました。年に2回、計4回の現地訪問を重ねるたびにカンボジアで出会う笑顔に魅了され、2000枚近く笑顔ばかりの写真を撮ります。カンボジアではもっと自分を愛しなさいと言われてくれる人がたくさんいます。経済的には貧しくても、豊かだと言われる日本人よりも精神的に豊かなのです。そんなカンボジアの貧困や地雷、不衛生といったネガティブイメージ払拭のために、私は団体や写真を通してカンボジアと日本を繋げていきたいと思っています。



日本文化学科 2年 滑川 絵美

2月3日に実施された漢字検定の試験で日本文化学科の学生は5名が2級に合格しました。その内2名はすでに卒業しました。



左から滑川絵美さん、奥野由貴さん、澁谷香林さん

今回の合格ラインは200点満点中155点でした。日本文化でのトップは186点。

私は部首と対義語・類義語に課題のある事が分かりました。自分の得意、不得意を見極め、今後更にステップアップしたいと考えています。

教育学部



「Dance Worlds 2013」出場 幼児教育学科 1年 江口 舞

私は、アメリカのフロリダで行われた、チアダンスの世界大会「Dance Worlds 2013」に日本代表チームの1員として出場しました(4月24日から2週間)。

私のチームは、Open Pom部門に出場し、第5位に入賞しました。また、大会では演技だけでなく、各国の選手と交流するなど、とても貴重な体験ができました。

本大会に出場できたのは、家族の支えや先生方のご協力、多くの方々のご支援によって実現することができました。感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいです。



輝いている学生たち

児童教育学科 3年 鈴木 志歩

私は大学1年生からボランティアサークルに所属し、我孫子市内で行われるイベントに参加しています。子どもたちとふれあうことで接し方や言葉かけなど勉強になることが多くあります。2年生では授業の一環として、大学近くの公立小学校で、陸上部の朝練習と学習支援を半年間経験させていただきました。担任の先生から助言をいただくことで「教師になりたい!」という気持ちが高まりました。

現在「ちば!教職たまごプロジェクト」に参加しています。週に1回公立小学校に行き、教師という仕事かどのようなものなのかを学んでいます。これからも子どもたちの笑顔が見られるように自分の決めた目標に向かって頑張りたいと思います。



社会教育学科 3年 石山 優花

私は昨年12月に、全日本特別選抜吹奏楽団の一員として、ニューヨークにあるカーネギーホールで開催された日米親善コンサートに出演しました。このコンサートは、音楽を通じて日米の交流を深めるという目的で催されているもので、私はアルトサックスを担当しました。演奏前は不安もありましたが、本番ではカーネギーホールという大きな舞台でも、自分らしく演奏することが出来ました。この経験を生かし、これからも音楽を通して、様々な国の人たちと出会い、文化交流を深めていければと思っています。



生活創造学部

生活文化学科 4年 峯岸 宏佳

私は軽音部の部長をしていました。軽音部ではバンドごとの週1回の練習、全体の週1回のミーティングを基本として活動しています。今は、4年生は引退



してしまいましたが、3年生が中心となって練習に励んでいます。好きな音楽のジャンルや、アーティストをテーマとしたバンドが多数所属しています。定期的に校内やライブハウスでライブをすることで、日頃の練習の成果を発揮し、次のライブに向けて演奏を磨いています。日々練習を重ね、音楽を楽しんでいます。



観光文化学科 4年 大野 早智子

観光文化学科とツーリズム&ホスピタリティ研究会では一昨年より『あびっば』という市内のレストラン情報紙を作成し、我孫子インフォメーションセンターにて配布しております。今年3月には、我孫子市障害者福祉センターのご協力のもと、通所者インタビューを実施し、バリアフリー情報を追加しようというリニューアル作業中です。サークルの2年生3名も参加したインタビューでは、情報不足で近隣にもなかなか出かけられない様子や、実はありがたいわくわくな行為など12名から多様なお話をうかがい、感謝すると同時に深く考えさせられました。



バリアフリーに配慮したグルメ情報紙を作成中



● 幼児教育学科 2年 大沢 ひかり

私のふるさと、魚津市は富山県の東部に位置し、西は海の幸豊かな日本海に面し、東は山容がなだらかな僧ヶ岳や名峰剣岳などの北アルプスが広がっています。また、幻想的な「壺気楼」や「ホテルイカ」、約2000年前の「埋没林」が有名です。ホテルイカの群遊海面と埋没林は国の特別天然記念物に指定されていて、他では見ることのできない珍しいものです。

これから夏になると、海の安全と大漁を祈願する「たてもん祭り」が開催され、沢山のたてもんが出て、とても盛り上がるので、機会があればぜひ、魚津市に来てみてください!



● 日本文化学科 4年 高橋 絵美

私の故郷は群馬県です。群馬の面白い文化の1つに『上毛カルタ』があります。例えば「へ：平和の使い新島襄」は大河ドラマ『八重の桜』に由縁のある歴史上の人物ですし、「ら：雷(らい)とからっ風義理人情」は、群馬の自然についての内容になっています。

群馬県民なら誰でもみなこの上毛カルタを暗記しています。しかし近代の大詩人萩原朔太郎がカルタに入っていない。何故でしょう?

最後に群馬の地形を綺麗に1つ。「ツ：鶴舞う形の 群馬県」



母と妙義山へハイキング